

問 教育研修所の運営は

答 特色ある教育を

含めて十月から

岡田 初雄 議員

問

平成十七年度、
六栗市教育委員会
の主要事業である教員の
資質向上のための教育研修
所が、動き始めました。
その運営は、又、特色あ
る学校教育を、カリキュ
ラムに入れるべきと考え
ます。

市長

教育は、教
員の資質、考
え方による所が大きい。
地域独自の教育はあるべ
きであり、特色ある教育
を進める為のカリキュラ
ムは、当然必要であると
考えます。

教育長

波賀市民
局に設置致
しました。今年度は試行
期間であり、検討委員会
に於て組織、従来の研修
等を含め、専門的資質、
実践的指導力の育成、自

問 来年度予算への取り組みは

答 市総合計画に基づき予算化

高山 政信 議員

問

厳しい財政の中、
伸ばすべき事業、
削減すべき事業は何か。

市長

事業の厳選
を行い、真に
必要な事業は保持するが、
目的を達成したものは、時
代にそぐわないものは、
継続事業であつても中止
廃止する。少子高齢化問
題、林業対策、生涯学習
の推進、安全安心のまち
づくりも積極的に取り組
む。

問

経費節減への取
り組みとして直営
事業を民間へ管理委託を
してはどうか。

市長

合併協議に
おける配置で
あり、適正とは思えませ
ん。十一月に、定員適正
化計画を策定し、職員
の能力も、しっかりと見極
め、適正配置に努めます。

問

文化財保護の取
り組みは。

教育長

従来
の文化財の定義
に滞まらず、歴史的資源
として位置付け、地域づ
くり人づくり学校教育、
生涯学習の素材としての
取り組みが後世への継承
につながると考えている。

問

文化財地図を作
成し市内観光ルー
トを開発してはどうか。

市長

保存対策や
観光資源とし
ての位置付けを協議し、
観光施設としての充実と
開発をし、振興を図って
いきたい。

問

文化財への助成
金制度は。

教育長

予算の範
囲内で補助
金を交付する。

問 市の職員数の適正化

答 組織のスリム化に

ついて検討する

木藤 幹雄 議員

問

市の職員数は、市
の人口一〇程度が適
正であると思うが。行政改
革を進めるなか、職員の適
材適所の配置を含めその対
応は。

市長

合併当初で
あり、市の面
積・施設の多さ等、特殊事
情があります。組織のスリ
ム化についても民間委託を
視野に入れ検討します。職
員が最も適した分野で意欲
を持って働くことが、より
少ない職員で対応できると
考えています。職員の適材適
所につきましては、管理職の
皆さんにきちんと適材適所
その人間性の把握をしてい
ただくことがより肝要では
ないかと考えております。

問

粗大ごみの不法投
棄、空き瓶、空き缶
のポイ捨て防止条例の制定
は出来ないか。罰則も含め
て。

福祉部長

規定さ
れた以上
執行する上でも、設置者の
遵法精神に基づくと考えま
す。委員会にも報告しなが
ら検討します。

問

市の特産物の育成
は。

市長

農林産物の
付加価値を高
めて、生産から製品販売ま
でを一貫した体系で行い、
市民局単位で組織する加工
グループ、生産団体等の一
元的指導を目指し、関係団
体と協議を重ねて参ります。

問

六栗総合病院にメ
ディカル・ソーシャ
ルワーカーを設置できないか。

事務部長

十月か
ら地域連
携室が稼働します。きめ細
かい対応が出来るかと期待し
ています。メディカル・ソー
シャルワーカーについては今
後検討してまいります。